

「スーパージュニア選手育成プログラム2022」 トライアル

今年も5月21日（土）、22日（日）に広島会場、5月28日（土）に福山会場でスーパージュニア選手育成プログラムのトライアルを開催しました。

このトライアルで選考された約50名が、一年間を通してさまざまなスポーツを体験する「スーパージュニア選手育成プログラム」に参加することができます。



今年のトライアル参加者は、応募があった県内の小学4・5・6年生約200名
県内各地の小学校から参加者が集まりました。学校での体力テストとは違い、
周りは知らない子ばかりで緊張感がありますが、ベストを尽くして頑張っ
てほしいと思います！

開会行事では、主催者を代表して公益財団法人広島県スポーツ協会 堂本ひさ美 強化副委員長が「たくさんの競技と触れ合って、スポーツを楽しんでやってほしい。また、プログラムを通して、自分にあったスポーツを見つけて、このスポーツが大好きと自信をもって言えるものを見つけてほしい。」とあいさつしました。



準備運動が終わったら、いよいよ測定開始です。観客席の保護者の方も、カメラを構え真剣な表情で見守ります。

測定は、上体起こし・40m走・長座体前屈・立ち幅跳び・ソフトボール投げ・20mシャトルランの6種目。

学校でも行ったことがある測定なので、測定が終わるたび選手からは「学校では・・・」「学校より・・・」の音が聞こえます。でも、泣いても笑っても今日の測定で決まってしまう。

ソフトボール投げ・20mシャトルランの測定では、毎年良い記録が出ると会場は大盛り上がりです。

今年も体育館の壁に勢いよく当たる遠投があると、選手・保護者・スタッフからは歓声があがり、選手同士で好記録を出した選手へハイタッチをする姿も見られました。また、シャトルランの測定では、100回を超える選手もいて、最後まで必死に走る姿には、会場全体から拍手が起こりました。



【準備運動】



【上体起こし】



【長座体前屈】



【ソフトボール投げ】



【40m走】



【立ち幅跳び】



【20mシャトルラン】

今回のトライアルの選考は既に終了し、選考結果は各選手の記録とともに、参加者全員に通知を行いました。体験プログラムは、7月から始まり、計5回のプログラムが実施される予定です。

また、トライアル終了後には、スピードスケート・ハンドボールの競技紹介が行われました。紹介の時には、さっきまでトライアルに参加していた選手が、競技団体の代表としてデモンストレーションを行う場面もあり、選手達にとっては競技がより身近に感じられたのではないのでしょうか。

競技紹介の終了後には、興味を持った参加者が、実際にその道具や機材を手に体験する姿が見られました。

これをきっかけに、今回合格となった人も、残念ながらそうでなかった人も、いろいろなスポーツへの挑戦をしてみしてほしいと思います。新たな発見をしたり、隠れた才能を見つけたりすることができるかもしれません。



←スピードスケート



ハンドボール→

最後に、今年もトライアルの測定にご協力をいただいたT&TWAMサポート株式会社のトレーナーの皆様、広島県小学生体育連盟の皆様、補助員としてお手伝いをいただいた広島女学院大学、広島文教女子大学、福山平成大学の学生の皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

